

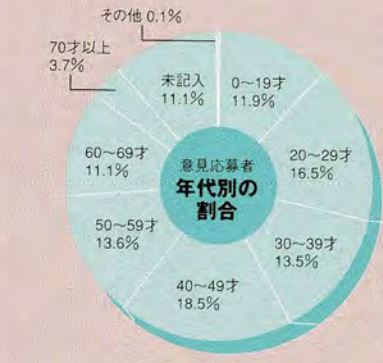
みなさんの声を 生かしながら、 21世紀に向けた 道づくりを始めます。

「キックオフ・レポート」実施報告

「96年5月に実施した「キックオフ・レポート」は、道づくりに様々な方の意見を取り入れるための新しい試みでした。



昨年5月から全国で実施した「キックオフ・レポート」とその結果をまとめた「ボイスレポート」。



全国3万5000人あまりの方からご意見をいただきました。

募集期間は、5月20日から7月末日までの約70日間。その間に、3万5674人の方からご応募がありました。ご意見は一人あたり平均3件、合計11万3316件の応募がありました。応募者の最高齢は90歳、最年少は8歳。幅広い年齢の方からご応募いただいたことがわかります。

集まったご意見の中で多かったのは、「渋滞の解消」「くらしと道のかかわり」「交通安全の確保」などのテーマについて、「渋滞の解消」については、道路整備と同時に、バスなどの公共交通機関の活用を求めるご意見が多くあり、「くらしと道のかかわり」については、わかりやすい標識や幅の広い歩道、バイパス環状道路の整備など、走りやすい、使いやすい道へ大きな期待が寄せられています。交通安全の確保では、ドライバーや歩行者の意識モラルの向上の必要性を上げた方がたくさんいらっしゃいました。

全体としては、現状の道路に対して、まだまだ安全で使いやすいものになっていないという見方やこれからの道づくりは人を中心として行うべきだというご意見が多数ありました。

みなさんとしつかり
「コミュニケーション」を
「ここから、新たな「みちづくり」を
始めたいと考えています。」

読者の声

第10号にお寄せいただいたみなさんのご意見。その一部をここでご紹介いたします。

特

集を飾る表紙は、一般の方が登場されていることもあってとても新鮮。自分が出ていような気がします。第10号の表紙は、成田山不動尊へのお参りにいつも通る道だったので、思わず見入っていました。さん

第

10号の特集の渋滞に関する記事、興味深く読ませていただきました。大阪から京都の間は、いつも枚方で渋滞するんですよね。結婚前、主人が待ち合わせに1時間以上遅れて来た事があったのですが、枚方に一緒に住むようになってから、なぜ遅刻してきたのかわかる様になりました。「枚方市 さん」

こ

どもしんぶん第10号の「石のいろいろ」を見て、そういえば学校の理科の時間に習ったよなあ、と懐かしい気分になりました。小学生のころ、ピルなどに使われている様々な色や模様の石を見ては、「何という石かなあ...」と考えたことも思い出して...とても楽しく自然の勉強ができました。「枚方市 さん」

第

10号の「どもしんぶん」の中で、サ岩が寝屋川に多いと書かれているのを見て、ツツと思ったりしました。主人と一緒に、よく行きあたりばったりの山歩きをするのですが、寝屋川周辺はザラザラとすべりやすい道が多いのです。あれは、とサ岩さんですね。「枚方市 さん」

各市の催し

- 第12回四條畷市吹奏楽祭**
3月20日(祝) 13時30分(四條畷市民総合センター) 四條畷市内で活動する吹奏楽団体による演奏。無料。
▼お問い合わせ 四條畷市立公民館(総合センター内) TEL.0720(79)3939
- 文化会館ふれあいまつり**
3月22日(土)・23日(日) 10時~16時
(門真市立文化会館)各種イベントを実施。無料。
▼お問い合わせ 門真市立文化会館 TEL.06(901)3300
- 第8回ひらかた人形劇フェスティバル**
3月28日(金)・30日(日) (枚方市立枚野公民館) プロ・アマ人形劇団による上演のほか、参加者が人形劇に挑戦したり、人形づくりを体験するコーナーもある。有料。
▼お問い合わせ ひらかた人形劇フェスティバル事務局 (枚野公民館内) TEL.0720(51)2566

わたしの好きな道を募集します

「緑立つ道」の表紙を飾る、北河内のすてきな道をご紹介します。景色が美しい「いつも散歩する」思い出がある...北河内にあるあなたの「好きな道」を、どんどんお寄せください。応募の際には、住所、氏名、年齢、電話番号と、「道のある場所紹介」したい理由をお書きのうえ、道の写真(スナップ写真で構いません)を添えて、左の宛て先の「わたしの好きな道」係までお送りください。ご応募いただいた方には記念品をプレゼントします。写真は送迎いたしませんのでご了承ください。

ご意見、ご質問をお待ちしています。

〒

記事への感想、ご意見はもちろんです。現在計画中の「緑立つ道」に関するご意見やご要望、ご質問など、いろんなお便りをお寄せください。住所、氏名、年齢、電話番号をお書きの上、左の宛て先までお送りください。また、ご希望の方には北河内の「道」の歴史の小冊子「道をたねて2千年」をさしあげます。

＜宛て先＞
建設省 近畿地方建設局 浪速国道工事事務所
「緑立つ道」編集局
〒573 枚方市南中振3丁目2番3号
TEL.0720(33)0261



第11号によせて

日ごとに太陽の光も明るくなり、春の訪れが待ち遠しくなるこの時期。お天気の良い日には、ゆっくりと散歩しながら、道ばたに春のきざしを捜してみませんか? 散歩の途中で素敵な風景を見つけたら、ぜひ、編集部まで一報ください。次号の発行は平成9年6月ごろの予定です。

緑立つ道

『緑立つ道』は、大阪と京都を結ぶ新しい幹線道路「第二京阪道路」と「一般国道1号バイパス」の愛称です。

Vol.11
1997年2月発行
発行
建設省近畿地方建設局浪速国道工事事務所
日本道路公団大阪建設局枚方工事事務所

特集 道路の下を、川が流れる。道という空間のはたらくき



今号のレポーター

読者が選ぶ 北河内の風景
深北緑地[寝屋川治水緑地] (推薦●今号のレポーター さん)
子供といっしょによく遊びに来る場所です。すべり台などの遊具やグラウンドもありますし、広々と景色が見渡せて、緑もきれいです。水辺の道もよく整備されています。本当は寝屋川が氾濫した時にあふれた水をためておく「遊水池」だそうですが、その機能を感じさせないほど、気持ちのいい場所。とてもよく考えて設計されているんだらうと思います。冬は渡り鳥がたくさん来ていて、バードウォッチングにもおすすめです。

災害を防ぐ「道」。暮らしを支える「道」。



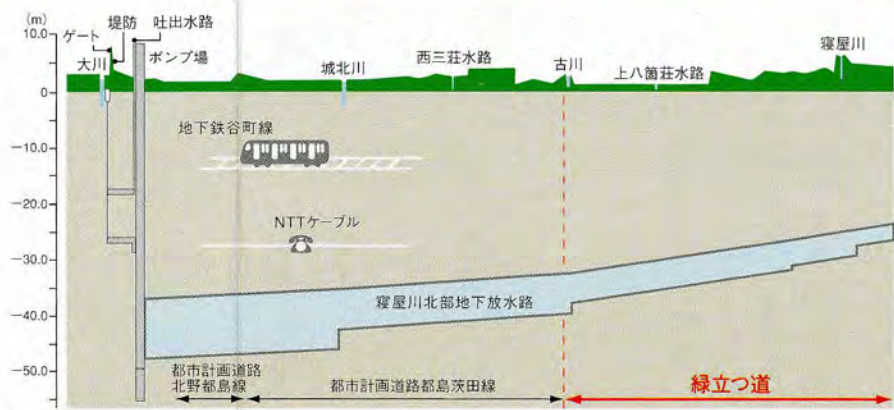
低い土地と、川と洪水と... 水害の多かった寝屋川に、人工河川の計画が生まれた。

「緑立つ道」の下に、「地下河川」が通るといってお話なんです。でも、地下河川という言葉が耳慣れなくて...

簡単に言うと、地面の下に川をつくって、大雨が降ったときなどに、地上の川が流しきれない水を分担しよう、ということなんです。川が一定以上の水位になると、自然に地下河川に流れ込むようにして、より安全な下流側まで流した後、ポンプアップして地上の川に戻すという仕組み。現在、寝屋川水系で南北2本の地下河川の工事が進められていて、南部の方は一部完成しています。

「川を通す。人も、電車も、電気やガスも通す。道路の地下空間の可能性。」

「その地下河川のルートが『緑立つ道』の下にあるわけなんです。寝屋川北部地下河川がそうなんです。地下に川を通すといっても、どこでもいいというわけではありませぬ。地上の土地を所有しているということ、地下にも権利があるということ(現在は、地下の深さによって権利に制限を設けようという議論もあるんです)、個人の土地の地下は、原則的には個人が所有していることになる。むやみに通るわけにはいけません。そこで、道路の地下空間が非常に重要になってくるわけです。」



寝屋川北部地下河川が通るのは、地下約40m付近。地下鉄や電話線などよりさらに深い場所です。



「空間」ということはいえ、都市の中に伸びる道路の「空間」、機能性も、役割も、まだまだ広がる。」

「道路の下」に空間があるなんて、ふだんはあまり意識しませんが、道路を「使っている」というのは、やはりそこを通るときでしょうね。でも、普通に生活していても、水道やガスを使ったり、地下街を通ったりしているわけですから、間接的に道路の空間を使っていることになるんだと思います。



土地が低い寝屋川水系では、川の水面が周囲の土地より高い場合もしばしばあります。堤防のすぐそばまで建物が増えてきたため、川幅を広げることも困難。地下河川は、このような状態の中で、暮らしの安全を確保するために計画されました。

「最近、大きな台風が大阪を直撃するというのもなく、済んでいますが、もし台風が来たら、大きな被害が出ると思います。寝屋川流域は、高低差の関係で、雨水が自然に河川に流れ込まない地域が全体面積の約4分の3もあります。ところが、地理的には非常に便利な場所ですから、都市化するのにはやがた。」

「以前、加古川の近くに住んでいたんですが、そこではダムをつくって調節していましたが...」

「寝屋川の場合は、生駒山脈の水源から小さな流れがたくさん集まってきているので、ダムをつくるのに適した場所がないんです。そこで、川沿いに遊水池をつくったりしていますが、それでも十分ではない。では、この土地が中で、どうやって洪水を分担するか、ということを考えてときに、地下の空間を利用するという発想が生まれた。それが地下河川です。」

「空間」ということはいえ、都市の中に伸びる道路の「空間」、機能性も、役割も、まだまだ広がる。」

「道路の下」に空間があるなんて、ふだんはあまり意識しませんが、道路を「使っている」というのは、やはりそこを通るときでしょうね。でも、普通に生活していても、水道やガスを使ったり、地下街を通ったりしているわけですから、間接的に道路の空間を使っていることになるんだと思います。

「空間」ということはいえ、都市の中に伸びる道路の「空間」、機能性も、役割も、まだまだ広がる。」

「道路の下」に空間があるなんて、ふだんはあまり意識しませんが、道路を「使っている」というのは、やはりそこを通るときでしょうね。でも、普通に生活していても、水道やガスを使ったり、地下街を通ったりしているわけですから、間接的に道路の空間を使っていることになるんだと思います。

「空間」ということはいえ、都市の中に伸びる道路の「空間」、機能性も、役割も、まだまだ広がる。」

「道路の下」に空間があるなんて、ふだんはあまり意識しませんが、道路を「使っている」というのは、やはりそこを通るときでしょうね。でも、普通に生活していても、水道やガスを使ったり、地下街を通ったりしているわけですから、間接的に道路の空間を使っていることになるんだと思います。

「空間」ということはいえ、都市の中に伸びる道路の「空間」、機能性も、役割も、まだまだ広がる。」

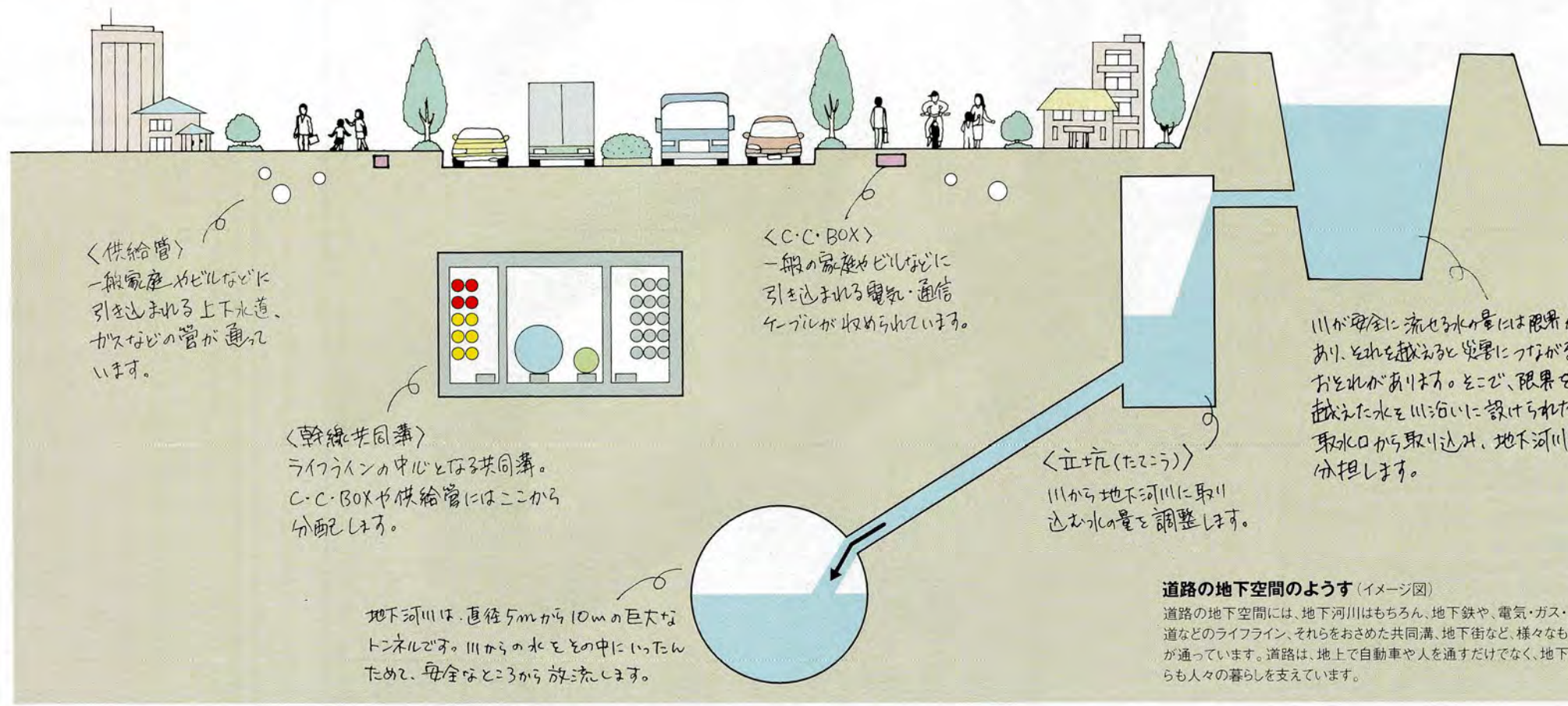
「道路の下」に空間があるなんて、ふだんはあまり意識しませんが、道路を「使っている」というのは、やはりそこを通るときでしょうね。でも、普通に生活していても、水道やガスを使ったり、地下街を通ったりしているわけですから、間接的に道路の空間を使っていることになるんだと思います。

「空間」ということはいえ、都市の中に伸びる道路の「空間」、機能性も、役割も、まだまだ広がる。」

「道路の下」に空間があるなんて、ふだんはあまり意識しませんが、道路を「使っている」というのは、やはりそこを通るときでしょうね。でも、普通に生活していても、水道やガスを使ったり、地下街を通ったりしているわけですから、間接的に道路の空間を使っていることになるんだと思います。

「空間」ということはいえ、都市の中に伸びる道路の「空間」、機能性も、役割も、まだまだ広がる。」

「道路の下」に空間があるなんて、ふだんはあまり意識しませんが、道路を「使っている」というのは、やはりそこを通るときでしょうね。でも、普通に生活していても、水道やガスを使ったり、地下街を通ったりしているわけですから、間接的に道路の空間を使っていることになるんだと思います。



〈供給管〉
一般家庭やビルなどに引込まれる上下水道、ガスなどの管が通っています。

〈幹線共同溝〉
ライフラインの中心となる共同溝。C-C BOXや供給管にはここから分配します。

地下河川は、直径5mから10mの巨大なトンネルです。川からの水もその中に流れているため、安全なところで放流します。

〈C-C BOX〉
一般家庭やビルなどに引込まれる電気、通信ケーブルが収められています。

〈立坑(たてい)〉
川から地下河川に取り込む水量を調整します。

道路の地下空間のようす (イメージ図)
道路の地下空間には、地下河川はもちろん、地下鉄や、電気・ガス・水道などのライフライン、それらをおさめた共同溝、地下街など、様々なものが通っています。道路は、地上で自動車や人を通すだけでなく、地下からも人々の暮らしを支えています。



さん
京都大学教授。工学博士。専門は水工学。
防災にかかわる研究を続けておられます。大阪生まれ。主な著書に、『水工水理学』(丸善)、『新体系土木工学21 水理学の基礎』(技報堂出版)など



さん
寝屋川市にお住まい。小学校1年生になるお子さんは、「電波って何?」地球は何からできているの?...と何にでも興味津々なのだそう。「地下河川の事は今回の取材で初めて知りました。ふだんの生活と結び付けながら、子供といっしょに考えてみたいですね。」

シリーズ道くさしよーよ

冷たい水の中でも元気にくらくらく泳ぐよ。

水辺の鳥たち

冬は、北国からわたり鳥がやってくる季節。水辺でも、いろんな種類の鳥が見られるよ。

泳いだり、もぐったり……

水の上で生活するために水鳥は

どんな体のしくみをもっているのかな？

水鳥は、体が大きく、動きもゆっくりなので観察しやすいよ。公園の池や川に行くと、そのしくみを見てみよう。



カイツブリ(全長約30cm)

水中にもぐるのが上手で、魚、エビ、こん虫などを食べるんだ。水かきかわりに足の指にうすい膜がついていて、足を前に出すときにはとじ、後ろに水をかくときにだけ開くしくみになっているよ。水の上に水草を積み重ねて巣をつくるのもとくちょうなんだ。



ゴイサギ(全長約60cm)

首が短く、すんぐりした体をしているんだ。夜行性のものが多い、昼間はしげみの中などで休み、夕方から川や池などに出かけて、魚やカエルをつかまえて食べるよ。淀川沿いでもよく見られるんだ。



マガモ(おす・全長約60cm)

冬に見られるわたり鳥で、おすはつやのある緑色の頭と首の白いラインがとくちょう(めすはこげ茶がかかった色だよ)。えさは植物やこん虫、貝など。横に平たく、はばの広いくちばしは、池の水面に浮いた植物の葉や種などを食べるのに便利だよ。



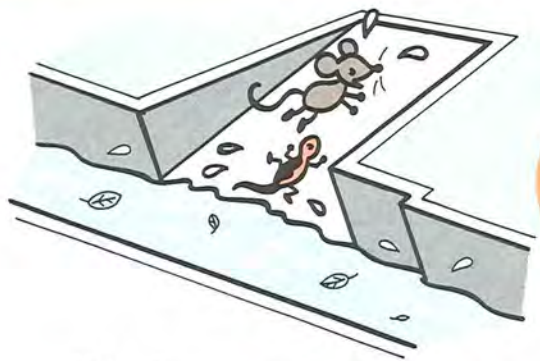
キンクロハシロ(おす・全長約40cm)

目が金色で体が黒いから「キンクロ」。マガモより少し小さく、すんぐりして、頭のうしろにはかんむりのような黒い羽がのびているよ。めすは黒っぽい茶色。水中にもぐって、貝や水草などを食べるんだ。冬のわたり鳥で、四條畷市の室池などで見られるよ。



コサギ(全長約60cm)

サギの一種。サギの中では、やや小さめで、体は白いよ。細く長い足は、浅せを歩かためもの。魚、カエル、こん虫など、えさを見つけたら、長い首と長くてもがったくちばしをすばやくつきだしてつかまえるよ。枚方市の山田池公園でもよく見ることが出来るんだ。



道路の危険から動物を守っているんだ。

道路の横には、はい水のためにみぞをつくるけれど、小さな動物がそこに落ちると自分の力ではい上がれなくなるんだ。そこで、動物の脱出用にスロープがつくられているよ。ほかにも、動物が道路に飛び出してこないように、その地域でくらしている動物の種類に合わせて、高さやあみ目のちがう「さく」をつくることもあるんだ。

動物の生活をじゃましないように、動物の通り道も考えているよ。

山の中などに、新しく道路がつくられると、動物のすみかを分だんしてしまうことがあるんだ。そのために、道路の下に小さなトンネルをつくったり、道路の上に歩道橋などをつくって、動物が道路の向こうに安全にわたれるような工夫をしているよ。また、鳥が飛ぶコースに木を植えて、わたっていきやすいようにしたり、カエルやトンボが産卵する水辺を道路が通る場合は、別の場所にかわりの池をつくったりもするよ。

人間だけでなく、動物や自然かんきょうのことも考えてつくった道のことを「エコロード」といっているんだ。道路やそのまわりにどんな工夫がされているのか、見てみよう。

エコロードって何だろっ？

ドライバーに注意をよびかける標しきもあるよ。

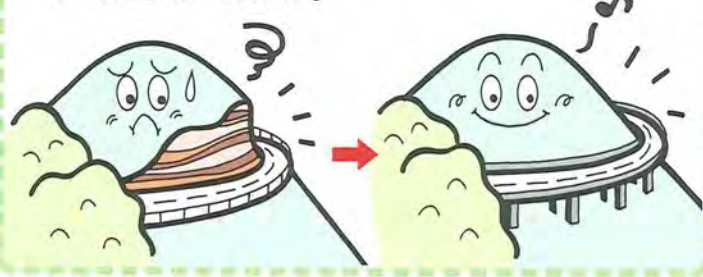
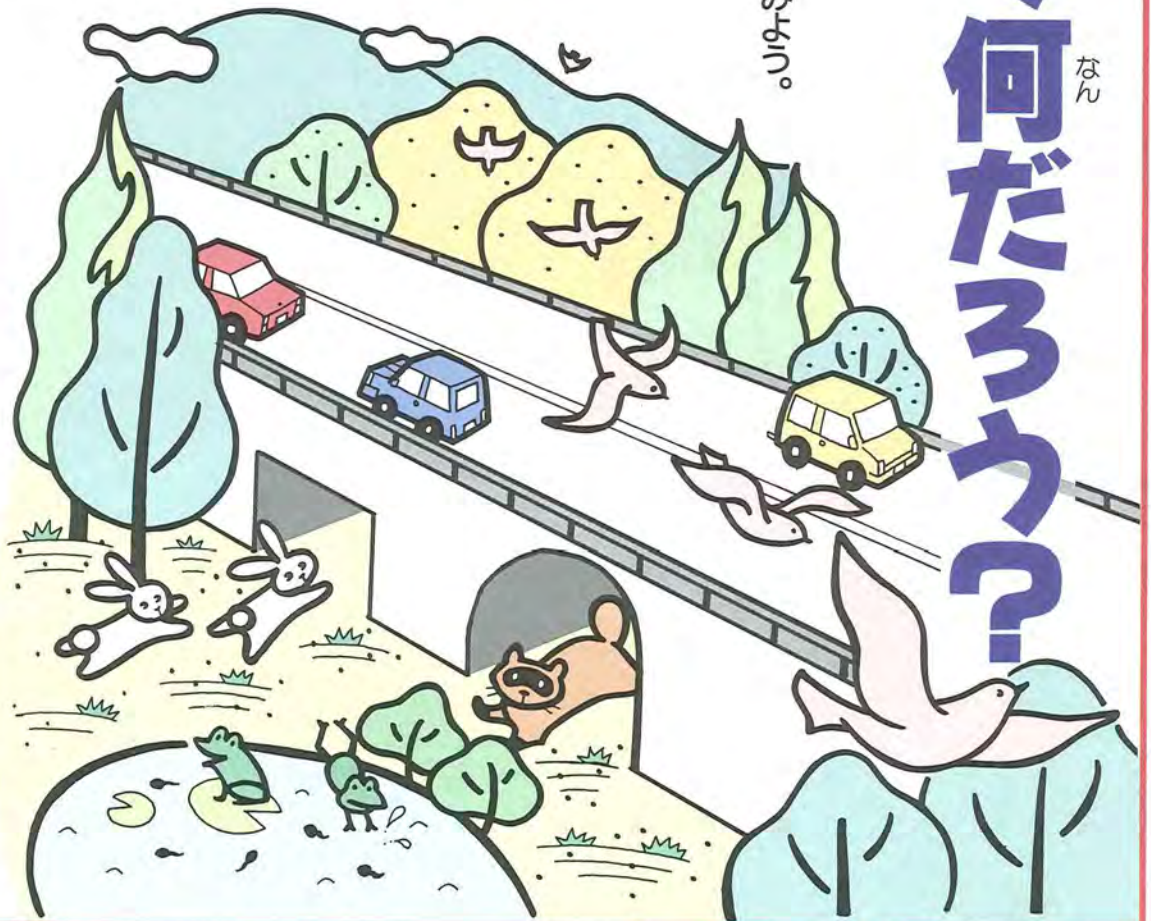


鹿の飛び出し注意

山道で「動物注意」の標しきをみたことはないかな？これは、「動物が道路を横だんすることがあるから気をつけてね」と、ドライバーに知らせる標示だよ。

まわりの景観やかんきょうを考えながら、建せつ工事の方法も工夫しているよ。

自然がたくさんある場所に道をつくるときには、山などをなるべくけずらずにすむように、橋のような「高架式」の建せつ方法が考えられているんだ。これだと、見た目にも美しいね。このほか、工事のあとを、できるかぎりもとの自然に近い状態にもどすために、その周辺にはえている植物のなえや種を使って緑化をすすめたりもしているんだよ。



インターネットで、土木のクイズに挑戦。何問とけたかな？



インターネットで、土木のクイズに挑戦。何問とけたかな？



日本人初の宇宙飛行士・さんのこう演。地球のくさきょうや、それをとりまく宇宙のことを考えるのも、土木の大切な役目だということを感じました。

さらにイベント最終日には、日本人初の宇宙飛行士の



て学んだあとは、村づくりなど土木の仕事にコンピュターで体験。

●'96年「土木の日」イベント開催

土木について楽しく学んだよ。

おともどももいっしょに土木に関するクイズに挑戦！

11月16日から18日の3日間にわたって開かれた「土木の日」のイベント「びゅーいふる DOBOKU」。

秀吉のおしるぐりや戦りやくを紹介したパネルや、土木の仕事に関する最新じょうほうなどがいっぱいインターネットコーナーで土木の仕事について